

# 井村屋が「企業の森」宣言

## 白山町に植樹、整備へ

### 県庁で調印式 遊歩道やビオトープも

食品メーカー「井村屋グループ」（本社・津市高茶屋七丁目）は二十五日、同市白山町内に「企業の森」を設けることを定めた「森づくり宣言書」に調印した。企業の森は今回で四十七件目。「アズキキングの森」と名付け、森林整備や遊歩道の設置に取り組む。

（水野志保）

### 「アズキキングの森」



宣言書に調印した（左から）鈴木知事、浅田会長、前業市長、県庁で

同社は商品の生産過程で雲出川の水を利用。町内の佐田川は雲出川の源流であることから、創業百二十年の節目に森林や川に感謝しようと佐田川流域に企業の森を設けることにした。

約五・五畝の山林に山桜などを植樹して遊歩道やビオトープをつくる。県庁で浅田剛夫会長と鈴木



「アズキキングの森」として整備される津市白山町の山林（津市提供）

木英敬知事、前業泰幸津市長が宣言書に調印。浅田会長は「食品製造は水がないと成り立たない。水の良さが製品の良さにつながる」と説明。「森林を整備して水の恵みに感謝したい。地域の人にも遊びに来てもらえるようにする」と語った。

県などによると、今回の調印で企業の森となる山林はクヌギやコナラなどが生育し、地元の佐田連合自治会が所有。来年一月～平成三十四年三月までの四年三カ月間、無料で同社に貸す。森の名前は同社の商品キャラクター「アズキキング」にちなむ。